

N

F

C

NFC CALENDAR

大ホール(2階)

生誕100年

オーソン・ウェルズ—天才の発見

Orson Welles: The Known and The Unknown

2015年10月23日(金)–11月8日(日)

*月曜日は休館, 11月4日(水)–6日(金)は休映

主催:東京国立近代美術館フィルムセンター

東京国際映画祭

モーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)

株式会社日本国際映画著作権協会

特別協力:ミュンヘン映画博物館



11月の休館日:

月曜日, 10月1日(木), 10月12日(月)–15日(木), 10月19日(月)–22日(木),
11月9日(月)–12日(木), 11月16日(月)–20日(金)

大ホール

開映後の入場はできません。

定員=310名(各回入替制)

料金(共催企画の特別料金)

一般1,300円/高校・大学生・シニア1,100円/小・中学生, 障害者
(付添者は原則1名まで)520円/キャンパスメンバーズ900円(学
生), 1,000円(教職員)

発券=2階受付

- 観覧券は当日・当該回のみ有効です。
- 発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切ります。
- 学生, シニア(65歳以上), 障害者, キャンパスメンバーズの方は, 証明できるものをご提示ください。
- 発券は各回1名につき1枚のみです。

東京国立近代美術館フィルムセンター

National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo

ORSON WELLES

The Known and The Unknown

ORSON WELLES
生誕100年 オーソン・ウェルズ 天才の発見

The Known and The Unknown

2015

11

NFCカレンダー
2015年11月号

大ホール 上映作品

生誕100年
オーソン・ウェルズ
一天才の発見
Orson Welles:
The Known and The Unknown

『市民ケーン』(1941年)でセンセーショナルなデビューを飾り、映画史に多くの伝説を残したオーソン・ウェルズ(1915-1985)。独自の映像表現を追求し、“天才”の名をほしいままにしたウェルズは、しかし、商業的な成功を一度も収めなかったばかりか、製作会社による作品の改変や資金難による製作中止などにたびたび見舞われ、フィルムグラフィアーの把握すら困難にするほど多くのバージョンや未完成作品を生み出しました。その意味でウェルズは“呪われた天才”であり、世界は今なお、遺された映像素材の復元や資料の調査などによって、その映画作家としての全体像を探求し続けています。

本特集は、ウェルズの生誕100年・没後30年を機に、近年復元された作品を含む7本の監督作とウェルズを主題にした2本のドキュメンタリーを上映し、ウェルズ作品復元の専門家であるシュテファン・ドレスラー氏(ミュンヘン映画博物館ディレクター)による講演を開催します。“知られざるウェルズ”の発見に立ち会い、その天才ぶりをご堪能ください。

* オーソン・ウェルズが出演したニッカウヰスキーのCM9本(提供:ミュンヘン映画博物館)を3本ずつに分け、各プログラムの冒頭に上映します。プログラム9では9本すべてを上映します。

1 10/23(金)7:00pm 10/28(木)7:00pm 11/7(土)1:00pm

上海から来た女【復元版】 THE LADY FROM SHANGHAI (87分・DCP・白黒)

ウェルズが監督・主演し、当時ウェルズの妻だったリタ・ヘイワースがファム・ファタールを演じるフィルム・ノワール。船乗りのオハラ(ウェルズ)がセントラル・パークで美女エルザ(ヘイワース)と出会ったことから、奇妙な人間関係に巻き込まれる。ラストの鏡の演出は映画史上あまりに有名。オリジナルネガから4Kスキャンを行った復元版を上映。

1947(コロムビア)◎◎◎オーソン・ウェルズ◎シャールウッド・キング◎チャールズ・ロートン◎ジュニア◎ステファン・グーン、スタージェス・カーン◎ハイッツ◎レムヘルド◎リタ・ヘイワース、エヴェレット・スローン、グレン・アンダーズ、テッド・デ・コルシア

2 10/24(土)2:00pm 10/27(火)3:00pm

第三の男 THE THIRD MAN (105分・DCP・白黒)

第二次大戦後のウィーンを舞台に、モノクロームの映像美で魅せるサスペンス。アメリカ人の小説家が友人の死の謎を追う。C・リードの演出とアカデミー賞受賞の撮影美、A・カラスの音楽で、映画史上の名作となった。友人ハリーを演じたウェルズが、少ない出演シーンながらも圧倒的な存在感を發揮し、作品全体を引き締めている。

1949(キャロル・リード・プロダクション/ロンドン・フィルム)◎キャロル・リード◎グレアム・グリーン◎ロバート・クラスカー ◎ヴィンセント・コルダ、ジョン・ホークスワース、ジョゼフ・パター ◎アントン・カラス◎ジョゼフ・コットン、アリダ・ヴァリ、オーソン・ウェルズ、トレヴァー・ハワード、バーナード・リー

3 10/24(土)5:00pm 10/28(木)3:00pm 11/3(火)4:00pm

Mr.アーカディン【最長版】 MR. ARKADIN/ CONFIDENTIAL REPORT (105分・DCP・白黒)

ウェルズが脚本・演出・主演したラジオ番組を映画化。世界を股にかける大富豪アーカディン(ウェルズ)が、密輸入人ガイ(アーデン)に自分の過去を探らせるが…。インターネガや様々なフッテージ、資料調査に基づき、ウェルズが当初意図した作品の復元を試み、2006年に再構成された最長版を上映。

1955(フィルモルサ/セルバンテス・フィルム/セビリア・フィルム/マーキュリー・プロダクション)◎◎◎オーソン・ウェルズ◎ジャン・ブルゴワソ◎ポール・ミスラキ◎ロバート・アーデン、パオラ・モーリ、パトリシア・メティナ、エイキム・タミロフ

4 10/25(日)1:00pm 10/29(木)7:00pm

審判【復元版】 THE TRIAL (118分・DCP・白黒)

原作はカフカの同名小説。平凡な銀行員が突然逮捕される悪夢を様式的に描く。A・アレクセイエフのピン・スクリーンも必見。全篇緊張感に満ち、シャープな白黒映像とカメラ・ワーク、デフォルメされた美術、個性的な俳優陣に、ウェルズのスタイルが遺憾なく發揮された代表作。A・パーキンスとウェルズの対比的なキャラクターも秀逸。

1962(バリ=ユーロパ・プロダクション/ヒザ・フィルムス/F.I.C.I.T)◎◎◎オーソン・ウェルズ◎フランツ・カフカ◎エドモン・リシャール◎ジャン・マンダルー ◎ジャン・レドリユ、トマゾ・アルビノーニ◎アダー・ジオ◎アンソニー・パーキンス、ジャンヌ・モロー、ロミー・シュナイダー、エルサ・マルティネリ、ジュゼップ・フロニ、マドレーヌ・ロバソン、エイキム・タミロフ、パオラ・モーリ、フェルナン・ルドゥー



上海から来た女

© 1948, renewed 1975 Columbia Pictures Industries, Inc. All Rights Reserved.



Mr.アーカディン

Image courtesy of Hollywood Classics



上海から来た女

© 1948, renewed 1975 Columbia Pictures Industries, Inc. All Rights Reserved.



審判

© Studiocanal

5 10/25(日)4:00pm 10/30(金)7:00pm

フォルスタッフ [復元版] FALSTAFF/ CHIMES AT MIDNIGHT (116分・Blu-ray・白黒)

シェイクスピア戯曲に登場する人間味溢れる老騎士フォルスタッフを、ウェルズが自ら演じた傑作。王子との友情とその裏切りが、大胆で冴えわたる演出と共に語られる。合戦場面の暴力描写は、映画史上特筆に値する。公開当時の画質を追求したフィルモテカ・エスパニョーラによる復元版。1986年の日本公開時の題名は『オーソン・ウェルズのフォルスタッフ』。

1965(インテルナショナル・フィルムズ・エスロラーノ/アルビーネ) 監 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㉿ ㊿ オールソン・ウェルズ ① ウィリアム・シェイクスピア ② エドモン・リチャード・ホセ・アントニオ・デ・ラ・ゲラ、マリアノ・エルドイザ ③ アンジェロ・フランチェスコ・ラヴァニョ ④ キース・バクスター、ジョン・ギールグッド、ジャンヌ・モロー、マーガレット・ラザフォード、ノーマン・ロドウェイ、マリナ・ヴラディ、アラン・ウェブ、ピートル・ウェルズ、ラルフ・リチャードソン(ナレーション)

7 10/27(火)7:00pm 10/30(金)3:00pm 11/8(日)4:00pm

フェイク F FOR FAKE (85分・DCP・カラー)

ウェルズ最後の長篇。贋作画家として名高いホーリーやハワード・ヒューズの偽自伝の作者C・アーヴィング本人が登場し語る一方で、断片的なショットの編集やナレーションなどによって、映画を語る行為そのものの「嘘」も浮かび上がってくる、野心的なドキュメンタリー。1978年の日本公開時の題名は『オーソン・ウェルズのフェイク』。

1973(フィルム・ド・ラストロフォル/ SACI / ヤヌス・フィルム) 監 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㉿ ㊿ オールソン・ウェルズ ① ゲーリー・グレイヴァー、クリスチャン・オダツ ② ミシェル・ルグラン ③ オヤ・コダール、エルミア・デ・ホーリー、クリフォード・アーヴィング、イーディス・アーヴィング、フランソワ・ライシェンバック、ジョゼフ・コットン、ローレンス・ハーヴェイ、リチャード・ウィルソン、ポール・ステュアート、ハワード・ヒューズ

9 10/24(土)11:00am 10/29(木)3:00pm

ディス・イズ・オーソン・ウェルズ THIS IS ORSON WELLES (52分・HDデータ・カラー/白黒)

今年のカヌー・クラシックスで上映された最新ドキュメンタリー。娘のクリストファー・ウェルズやマーティン・スコセッシなどへのインタビューを通して、『市民ケーン』からハリウッド最後の作品『黒い罌』(1958)まで、ウェルズのアメリカでの映画人生が簡潔にまとめられる。

◆本篇上映前に、ニッカウヰスキー CM9本を上映します。
2015(ウィッチタ・フィルム/TCMシネマ/トウト・リストワール) 監 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㉿ ㊿ ウェルズ、ピーター・ボグダノヴィッチ、ヘンリー・ジャグロム、マーティン・スコセッシ、クリストファー・ウェルズ

6 11/1(日)4:00pm 11/7(土)4:00pm

不滅の物語 [英語オリジナル版] THE IMMORTAL STORY (58分・DCP・カラー)

イサク・ディーネセンの短篇が原作。19世紀マカオで、死を前にした老商人(ウェルズ)の奇妙な願いのせいで、複数の人々の運命が狂わされていく。テレビ放映と劇場公開の両方を想定して製作された。

1968(ORTF/アルビーナ・フィルムズ) 監 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㉿ ㊿ ウェルズ ① イサク・ディーネセン(カレン・ブリクセン) ② ウィリー・クラント ③ アンドレ・ビルタン ④ ジャンヌ・モロー、ウィリー・クラント、ロジェ・コジジオ、ノーマン・エシュリー、フェルナンド・レイ

8 10/23(金)3:00pm 11/8(日)1:00pm

映像の魔術師 オーソン・ウェルズ MAGICIAN: THE ASTONISHING LIFE & WORKS OF ORSON WELLES (92分・HDデータ・カラー)

初監督作『市民ケーン』で高評価を得るも、商業性と芸術性の狭間で終生闘い続けたウェルズの作品を時代順に紐解きつつ、著名人の証言から「奇才」の真実を追う。

2014(コーエンメディアグループ) 監 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㉿ ㊿ ジョン・シャラフ ① バーナード・ハーマン ② オールソン・ウェルズ、ジャンヌ・モロー、マーティン・スコセッシ、コスタ・ガヴラス、スティヴン・スピルバーグ

配給 東北新社 Presented by スターチャンネル

10 10/31(土)1:00pm 11/1(日)1:00pm

未知のウェルズ 1

ミュンヘン映画博物館の所蔵資料を中心に、遺された未完成作品の素材映像を通してウェルズの試みを探る。未完成作品の抜粋上映あり。

講演: シュテファン・ドレスラー(ミュンヘン映画博物館ディレクター)

11 10/31(土)4:00pm 11/3(火)1:00pm

未知のウェルズ 2

ミュンヘン映画博物館の所蔵資料を中心に、遺された未完成のTV作品の映像を通してウェルズの試みを探る。未完成作品の抜粋上映あり。

講演: シュテファン・ドレスラー(ミュンヘン映画博物館ディレクター)

「未知のウェルズ」講演者

シュテファン・ドレスラー / Stefan Dröbler

ミュンヘン映画博物館ディレクター。1977年より学生映画クラブや映画祭、映画研究会を組織し、1986年にはボン・キネマテークを設立、1998年まで同ディレクターを務めた後、1999年から現職。オールソン・ウェルズ、エルンスト・ルビッチ、マックス・オフェルス、ヴェルナー・シュレーター、リヒャルト・オズワルト、マックス・デイヴィッドソンなどの古典映画の復元に加え、DVDシリーズEdition Filmmuseumの編集や映画祭などのプログラミング、映画史や映画技術に関する執筆、映画学校や大学、シネマテーク等での講義を行っている。2010年には、フィルムセンターのユネスコ「世界視聴覚遺産の日」記念特別イベントに招聘され、3D映画を再現して講演を行った。

- ⑤=監督 ⑥=原作・原案 ⑦=脚本・脚色 ⑧=撮影 ⑨=美術 ⑩=音楽 ⑪=出演
- 特集には不完全なプリントが含まれていることがあります。
- 記載した分数は、当日のものと多少異なることがあります。
- 上映作品にはすべて日本語字幕が付いています。



フォルスタッフ

© Mr. Bongo Worldwide



不滅の物語

© gaumontfilms

お知らせ

第28回東京国際映画祭

開催期間: 10月22日(土) - 10月31日(土)

開催会場: 六本木ヒルズ(港区), 新宿バルト9, 新宿ピカデリー, TOHOシネマズ新宿他



<http://www.tiff-jp.net>



東京国立近代美術館フィルムセンターは、国際フィルム・アーカイブ連盟(FIAF)の正会員です。FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。

生誕100年 オーソン・ウェルズ—天才の発見
Orson Welles: The Known and The Unknown

月	火	水	木	金	土	日							
10月	19	20	21	22	9	11:00am ディズ・イズ・オーソン・ウェルズ (52分)							
					8	3:00pm 映像の魔術師 オーソン・ウェルズ (92分)	2	2:00pm 第三の男 (105分)	4	1:00pm 審判 (118分)			
					1	7:00pm 上海から来た女 (87分)	3	5:00pm Mr. アーカディン (105分)	5	4:00pm フォルスタッフ (116分)			
	26	2	3:00pm 第三の男 (105分)	3	3:00pm Mr. アーカディン (105分)	9	3:00pm ディズ・イズ・オーソン・ウェルズ (52分)	7	3:00pm フェイク (85分)	10	1:00pm 未知のウェルズ 1	10	1:00pm 未知のウェルズ 1
		7	7:00pm フェイク (85分)	1	7:00pm 上海から来た女 (87分)	4	7:00pm 審判 (118分)	5	7:00pm フォルスタッフ (116分)	11	4:00pm 未知のウェルズ 2	6	4:00pm 不滅の物語 (58分)
		11	1:00pm 未知のウェルズ 2	11月4日(水)―6日(金)休映			1	1:00pm 上海から来た女 (87分)	8	1:00pm 映像の魔術師 オーソン・ウェルズ (92分)			
11月	2	3	4	5	6	7	8						
	3	4:00pm Mr. アーカディン (105分)	6	4:00pm 不滅の物語 (58分)	7	4:00pm フェイク (85分)							
	8	4:00pm 映像の魔術師 オーソン・ウェルズ (92分)											

■作品によって開映時間が異なりますのでご注意ください。

展示室(7階)

【企画展】

生誕110年 映画俳優 志村喬

Film Actor Takashi Shimura

2015年8月18日(火)―12月23日(水)

*月曜日は休室

人間味と朴訥さ、そして風格を備えた演技者としてジャンルに捉われない活躍を続けた志村喬。400本以上のフィルムに出演したその役柄の幅広さは、他の追随を許しません。本展覧会は、2010年にフィルムセンターに寄贈が完了した志村の旧蔵コレクションを本格的に公開する初の機会です。

* 詳細は当該チラシまたはフィルムセンターのホームページをご覧ください。

【常設展】企画展に併設

NFCコレクションでみる

日本映画の歴史

Nihon Eiga: The History of Japanese Film From the NFC Non-film Collection

映画の渡来した19世紀末から発展を続け、二つの黄金時代を経験した日本映画の豊かな歴史を、長年フィルムセンターが収集してきた多彩なコレクション(ポスター、スチール写真、雑誌、製作資料、業界資料、カメラなど機械類、映画人の遺品、映像など)によってたどります。日本映画史の新しい学びの場として、小学生から大人まで幅広い世代の方々を対象とする内容になっています。

(Captions in Japanese and English)

開室時間=午前11時―午後6時30分

(入場は午後6時まで)

料金(企画展・常設展共通)=一般210円(100円)/大学生・シニア70円(40円)/高校生以下及び18歳未満、障害者(付添者は原則1名まで)、MOMATパスポートをお持ちの方、キャンパスメンバーズは無料

* ()内は20名以上の団体料金です。

* 学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示下さい。

* フィルムセンターが主催する上映会をご覧になった方は当日に限り、半券のご提示により団体料金が適用されます。

常設展ギャラリー・トーク

毎月第一土曜日12時より(休室の場合は第二土曜日)

11月7日

図書室カレンダー

赤字は休室日

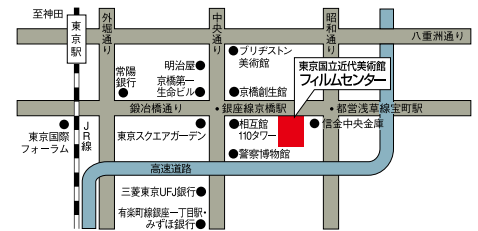
10月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

11月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

図書室(4階) 開室=火曜日-土曜日(午後0時30分-午後6時30分/入室は午後6時まで) 閉室=休館日および日曜日・祝日



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:

東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ: ハローダイヤル03-5777-8600

NFCホームページ:
<http://www.momat.go.jp/>